



広報が
変わったんだって！

どんな風に変った
んだろう？

東秩父村と武蔵野美術
大学は今年4月に地域連
携協定を締結しました。
協定に基づく連携協力
の一環として、広報誌リ
ニューアルについてデザ
インの協力を依頼。
学生からは、書体の選
択、余白の大切さ、記事
の組み方など専門的なア
ドバイスをいただきました。

デザイン協力していただいた3名の学生を紹介します！



基礎デザイン学科
おの さくらさん



デザイン情報学科
やまぐち ののか
山口 乃々華さん



デザイン情報学科
ふじもと あやせ
藤本 彩瀬さん

武蔵野美術大学の
学生がデザイン協力

裏表紙がカラーに

大变身！！

全ページ2色刷り
だった広報誌を表紙と
裏表紙がカラーに。
それによりとても見
やすくなりました！



冊子・大きさ

変わりました

両面1枚刷りの広報紙でしたが、
時代のニーズに合わせて冊子状に変
化しました。

また、A3サイズからB5サイズ、
B5サイズからA4サイズへ
大きさも変わりました。



むかし懐かし

広報東ちちぶの原点！

広報東ちちぶ 第1号

村の広報誌は東京オリンピックが開催された昭和
39年（1964年）に第1号が発行されました。
記念すべき第1号は、行事や現状の問題、新規事業
について掲載されていました。当時は、現在のよう
な冊子ではなく、新聞紙のような広報誌で、両面1
枚刷りで住民の皆さまの家に届けられていたよう
です。

広報東ちちぶ
58年のあゆみ

